

【咲くやこの花コレクションvol.6 出演者プロフィール】

いちかわうこん
市川右近

平成元年度受賞／演劇・舞踊部門 [歌舞伎]

慶應義塾大学法学部卒業。

1963年、日本舞踊の家元の長男として大阪に生まれる。

1972年6月、京都南座で初舞台、1975年1月大阪新歌舞伎座

「二人三番叟」の附千歳で、猿之助の部屋子となり市川右近を名乗る。

2005年、2008年のスーパー歌舞伎「ヤマトタケル」では、タケルの側近のタケヒコを弟弟子の段治郎とダブルキャストで勤め、4か月のロングラン公演を成功させた。

歌舞伎の舞台以外に、BS-i (現・BS-TBS) 超・人～virtuoso～にナビゲーターとして活躍。また、オペラ「花盛羅馬恋達引ーポッペアの戴冠」の演出を手がけるなど、幅広く活動している。



たなかしゅうじ
田中修二

平成4年度受賞／音楽部門 [ピアノ]

京都市立芸術大学音楽学部卒業と同時にデビューリサイタルを開く。

以後、新星日本交響楽団、新日本フィル、東京交響楽団、大阪フィル、大阪センチュリー交響楽団、京都市交響楽団他、数多くのオーケストラとの共演。

また、ドイツ、ハンガリー、ベルギー、オーストラリアおよび日本各地にて、協奏曲、独奏等、活発な演奏活動を行っている。

1997年4月より1年間、神戸女学院大学の派遣によりミュンヘン国立音楽大学へ留学。

2006年にはサマラ（ロシア）で開催されたカバレフスキー国際コンクールの審査に招かれた。現在、神戸女学院大学音楽学部教授。



まつもとくんぺい
松本薫平

平成20年度受賞／音楽部門 [テノール]

東京藝術大学音楽学部卒業。

大学卒業後にイタリアへ留学。

1999年、関西二期会35周年記念オペラ「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビューし、同年「蝶々夫人」のピンカートンと立て続けに出演、共に絶賛を博した。

ベートーヴェン「交響曲第9番」をはじめ、ヴェルディ「レクイエム」、プッチーニ「グローリア・ミサ」、マーラー「交響曲第8番」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」などのソリストとしても活躍。

現在、大阪芸術大学、京都市立芸術大学、神戸女学院大学など、数々の大学や高校の講師も勤めている。関西二期会会員。

